

【 第 1 7 回中標津町まちづくり町民会議報告 】

日時：平成 2 3 年 2 月 2 4 日（木） 1 9 : 0 0 ~ 2 1 : 0 0

場所：中標津総合文化会館（しるべつと） 2 階 第 1 研修室

出席者： 2 6 名（中標津町まちづくり町民会議委員 1 6 名、ファシリテーター 1 名（東田）
職員プロジェクト 6 名、事務局 3 名）

< 会議次第 >

- 1 開 会
- 2 開会挨拶
- 3 議 題
 - (1) 全体討議
会議の進め方について
 - ・ 前回の振り返り
 - ・ 条例制定後の市町村の状況
 - ・ 今後の進め方
- 4 閉会挨拶
- 5 閉 会

< 会議結果報告 >

[全体討議風景]

- 1 開会
- 2 挨拶： 杉本会長
- 3 議題< 進行：東田ファシリテーター >



(1) 全体討議

会議の進め方について

前回の振り返り

東田ファシリテーターより会議報告書にて説明

- ・ 職員 P T の欠席者対策として、杉本会長が一人ひとりに参加の呼びかけを行った旨報告された。
- ・ 事務局から、今まで職員 P T の考え方などについて、伝える努力が足りなかったことをお詫びした。
- ・ 会議報告は、今まで欠席者のみに配布していたが、全員に配布することを確認した。

条例制定後の市町村の状況

ニセコ町：まちづくり委員会委員

まちづくり基本条例検討委員会副委員長

苫小牧市：元自治基本条例策定委員会委員、元苫小牧ＪＣ理事長

市民自治推進会議委員

江別市：元市民懇話会副会長

市民活動センターあいセンター長

本間委員より説明

(ニセコ町、苫小牧市、江別市の現状)

・自治基本条例の制定について、行政主導で進んでいるが、行政側にとっては足かせとなる条例であるにも関わらず、それをよく作ろうとしているなと感じた。

例として、ニセコ町の文書管理システム、江別市の支庁交際費の公開を上げた。

・ニセコ町、苫小牧市、江別市とも住民は、みんな最初から自治基本条例がどんなものか理解していなかった。

・この会議に、団体の代表で来られている方も、職員ＰＴの皆さんも、これから、一人の町民、家族の代表として、お話していただきたいと思った。

・議会の条項はしっかり作り上げることをアドバイスされた。

・ニセコ町の元委員から、条例に即効性があるわけではないが、振り返ってみるとみんなが変わっているもの、未来の大人たちのために今、整備する必要があるという言葉に共感した。

事務局より説明

(職員ＰＴ視察調査(苫小牧市、石狩市、江別市))

事務局より説明

(職員ＰＴ視察調査(帯広市、音更町、芽室町))

・質問内容と聞きづらい質問の回答について、説明した。

感想

・職員ＰＴも、視察時にあえて聞きづらい質問を用意していたのには、驚いた。

・職員ＰＴも、自分たちと同じ気持ちだと感じた。

・視察研修のまとめに、心が入っていて、共感した。

意見

・前回、不要論を述べたが、今は作るべきと思っている。

・団体の立場でいたが、一町民として考えると、必要だと思った。これからも一人の町民として、必要とする人のために考えていきたい。

今後の進め方

東田ファシリテーターより説明

- ・会議の進め方は、いままでどおり、中標津方式（グループ討議と全体会議の繰り返し）で行うこととした。
- ・グループ討議は、町民と職員が一つのテーブルで議論する。
- ・町民会議と策定委員会、策定会議がほぼ同時進行で開催し、お互いの意見がキャッチボールできる状態であることを確認した。
- ・欠席者対応は、事務局に任せることとした。
- ・全員の将来のイメージを共有するため、条例名と前文から検討することとし、前文は、条例全体の議論が終了したとき、振り返って、再度、検討することとした。

次回の町民会議の日程は、明日、下記のとおり予定しております。

第18回 平成23年 2月25日（金） 役場3階301号会議室

4 閉会挨拶：飯島副会長

5 閉 会